

大熊町住民意向調査 調査結果(速報版)

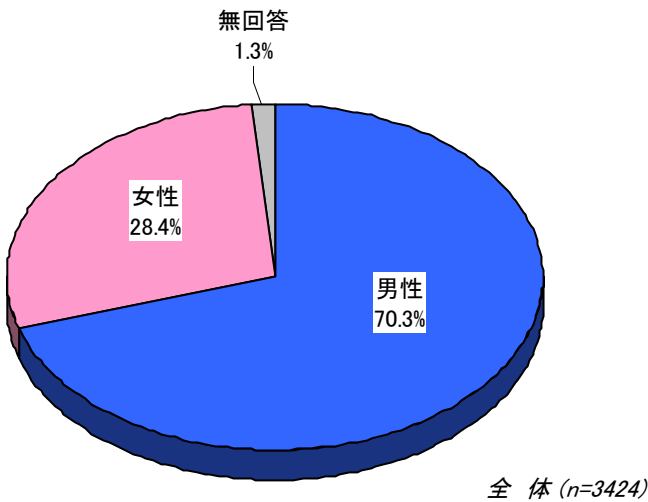
復興庁
福島県
大熊町

調査の概要

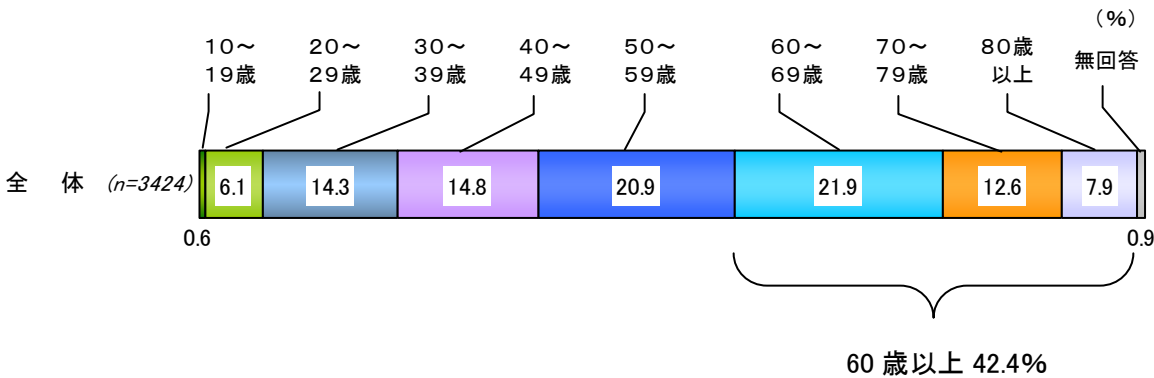
- 1. 調査対象:全世帯主(分散避難している場合は、それぞれの代表者) 5,378 世帯
- 2. 調査時期:平成 24 年 9 月 7 日(金)～9 月 24 日(月)
- 3. 調査方法:郵送法
- 4. 回収数:3,424 世帯(回収率 63.7%)

回答者の属性

●性 別 F1

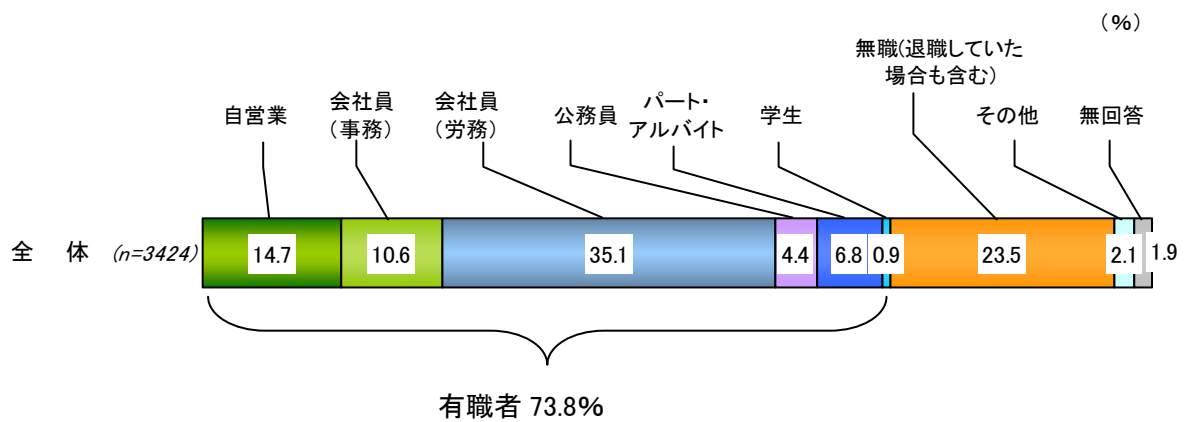


●年 齢 F2

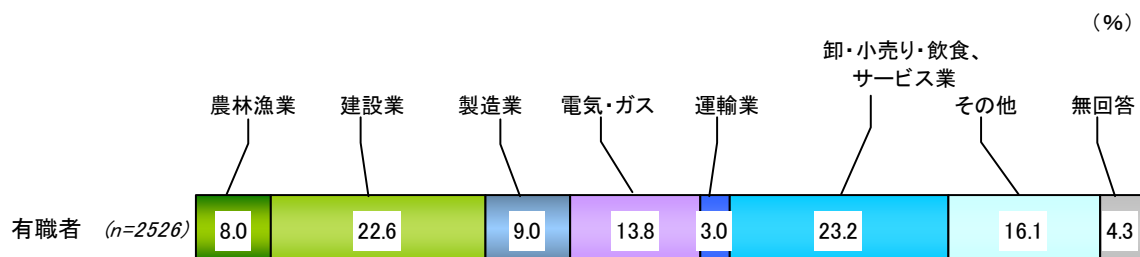


1. 震災前の状況

●震災発生までの職業 Q5 (1)

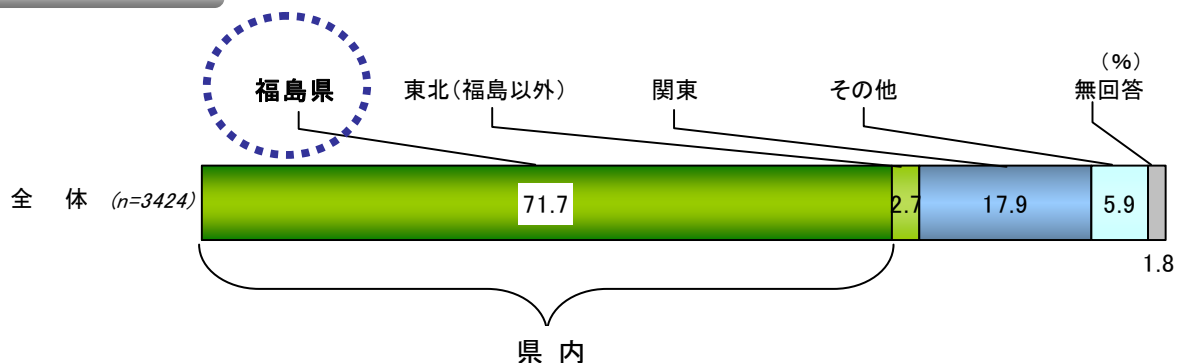


●有職者の業種 Q5 (2)

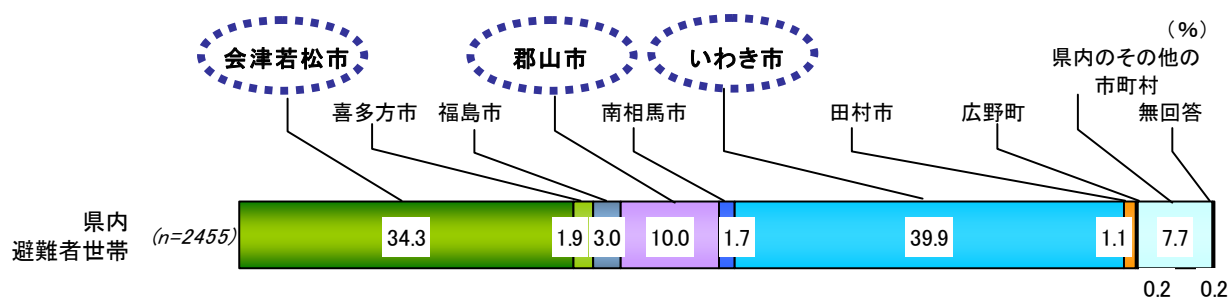


2. 現在の避難状況

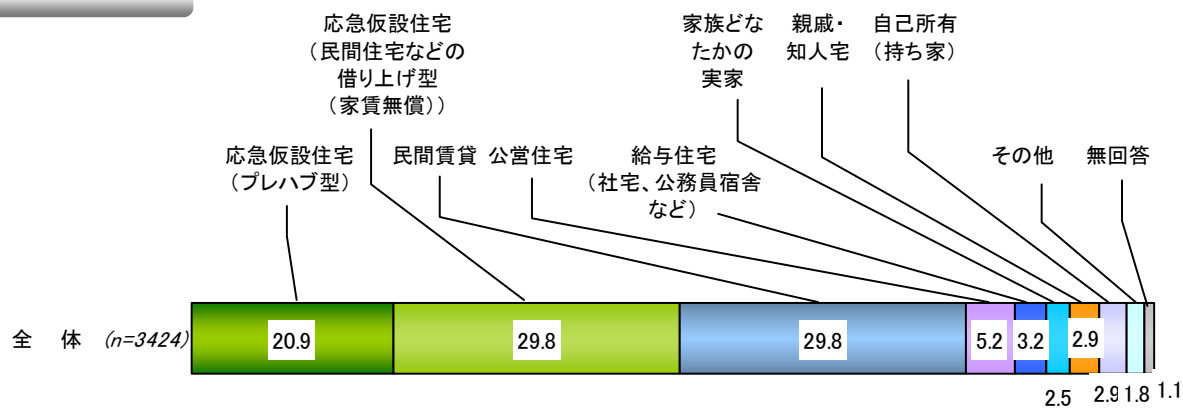
●現在の避難先 Q8



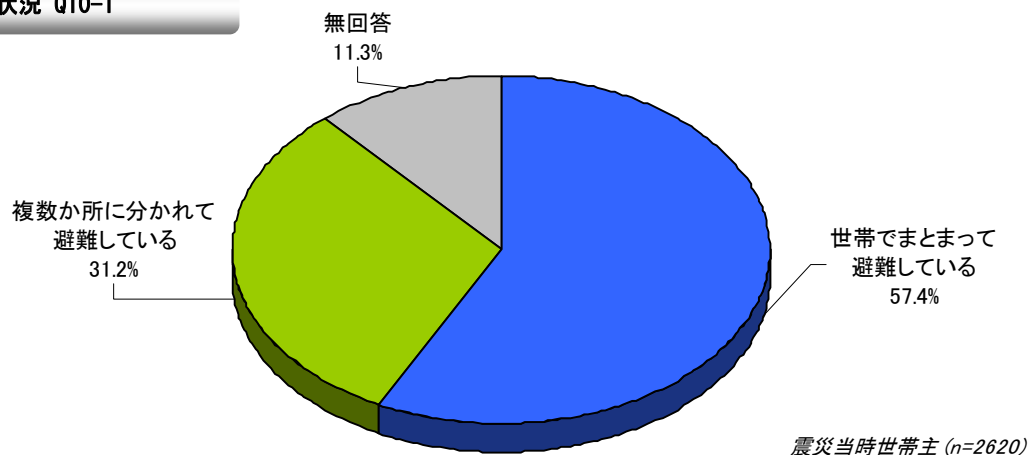
《現在の避難先（県内市町村）》



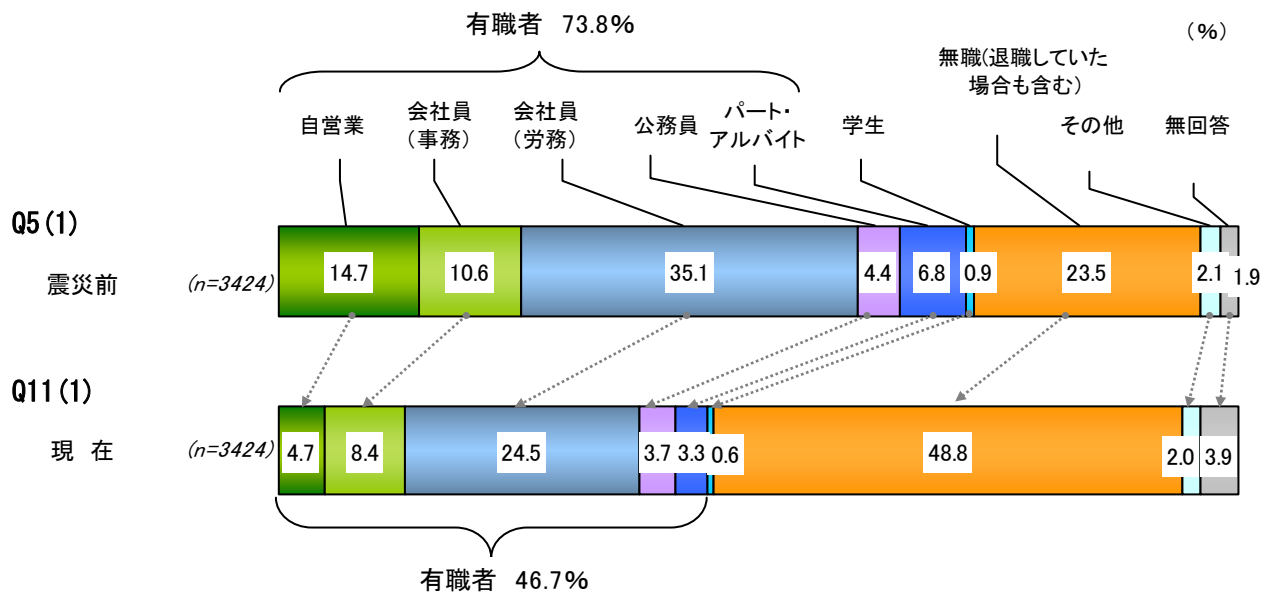
●現在の住居種別 Q9



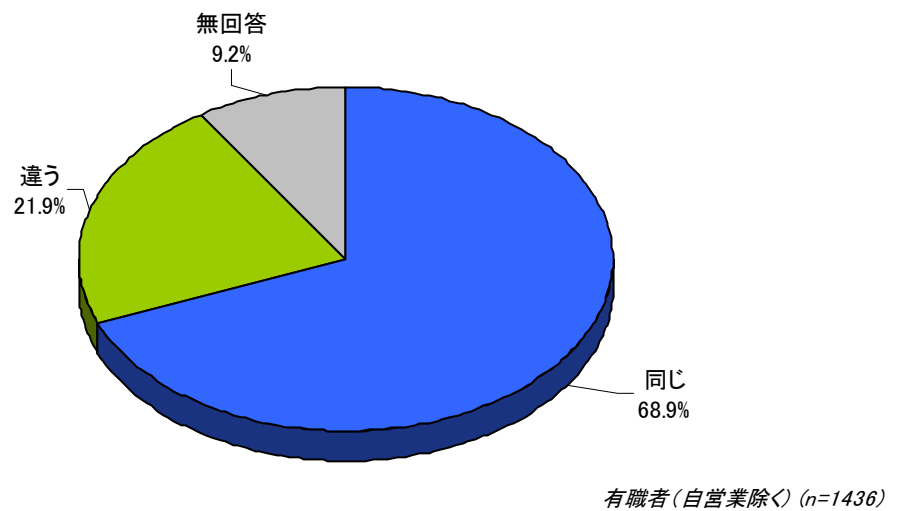
●世帯の避難状況 Q10-1



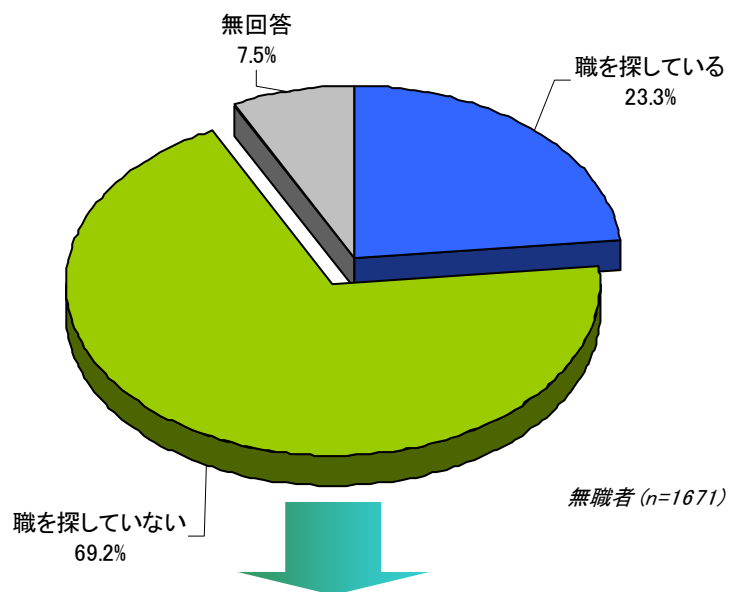
●現在の職業



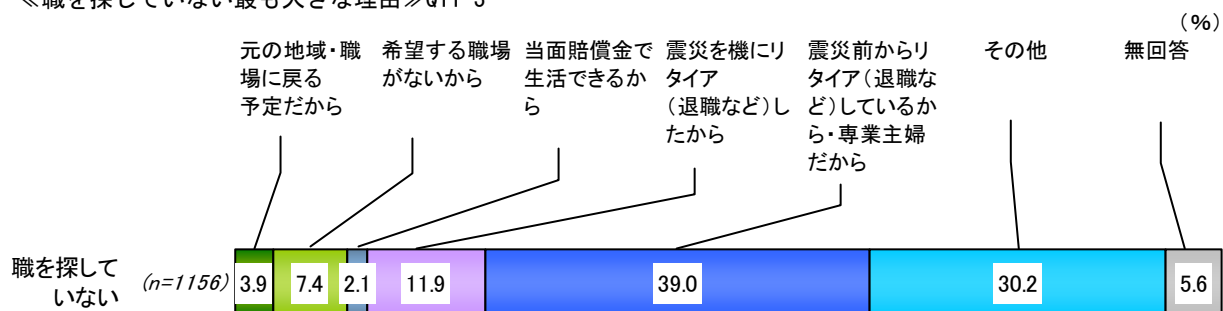
●現在の職業と震災発生までの勤め先の相違 Q11-1



●現在の求職状況 Q11-2



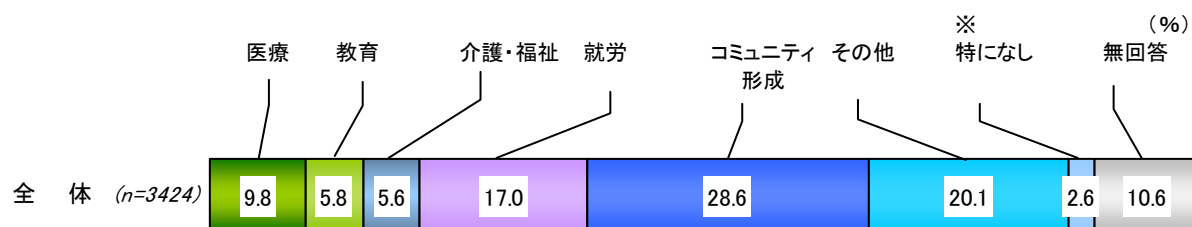
《職を探していない最も大きな理由》Q11-3



〔その他の具体的記述（上位項目）〕

- 年齢的に困難・高齢のため
- 病気・体調不良のため
- 家族の介護・世話の必要から
- など

●現在の避難生活で困っていること、改善を求める分野 Q12

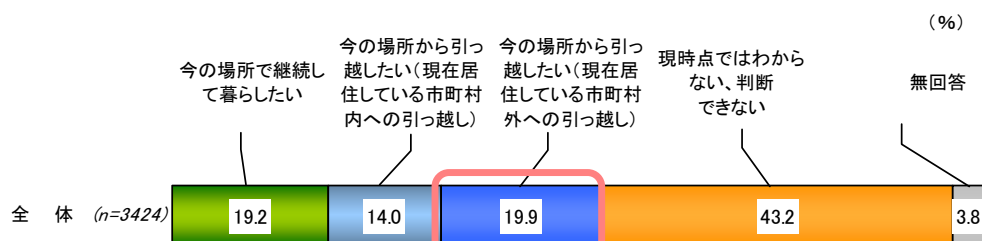


※はその他自由回答から起こしたもの

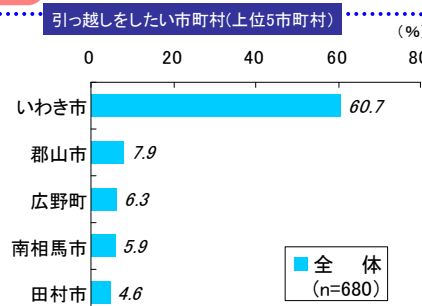
〔その他の具体的記述（上位項目）〕

- 住宅・住環境
- 生活費・賠償金
- など

●今後の避難期間中の生活をどこで過ごしたいか Q18



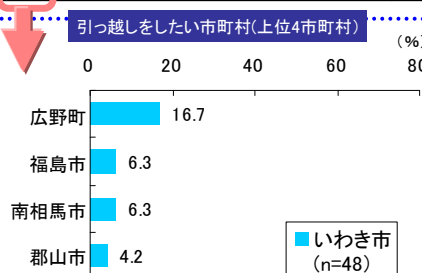
Q18-2



いわき市に現在避難している世帯 (n=980)



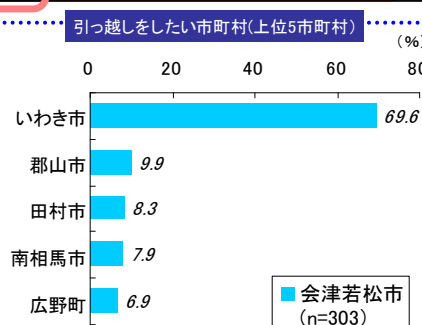
Q18-2



会津若松市に現在避難している世帯 (n=842)



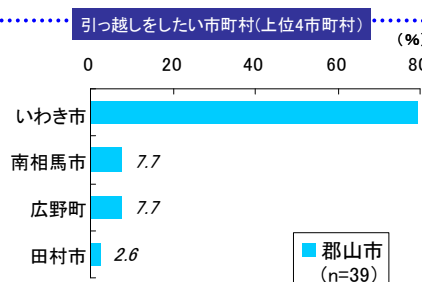
Q18-2



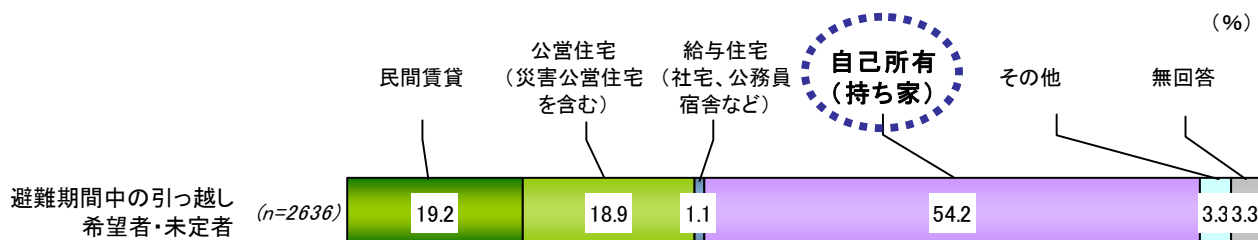
郡山市に現在避難している世帯 (n=246)



Q18-2

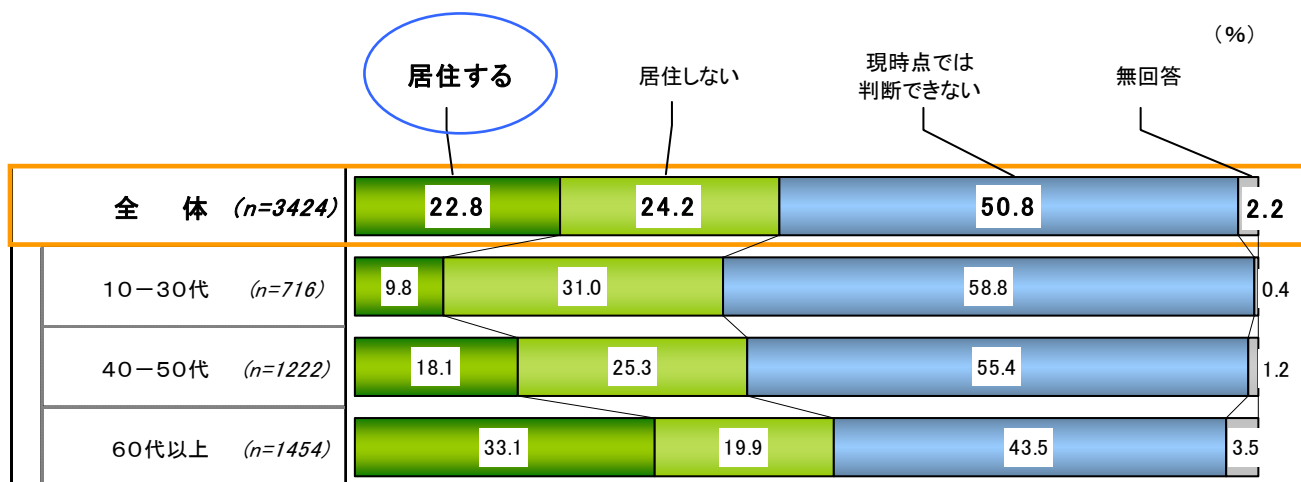


●今後の避難期間中に希望する居住形態 Q18-1

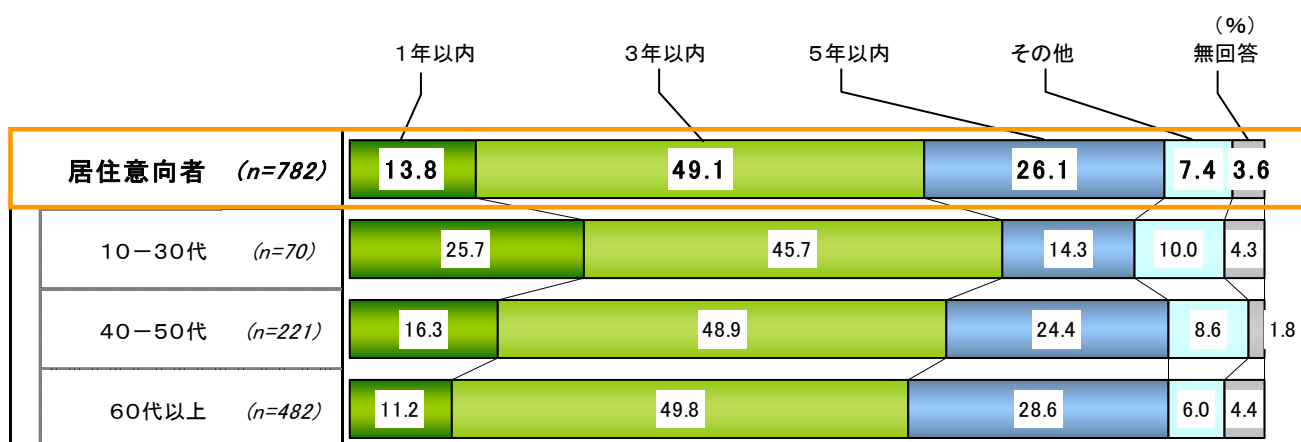


3. 復興の拠点について

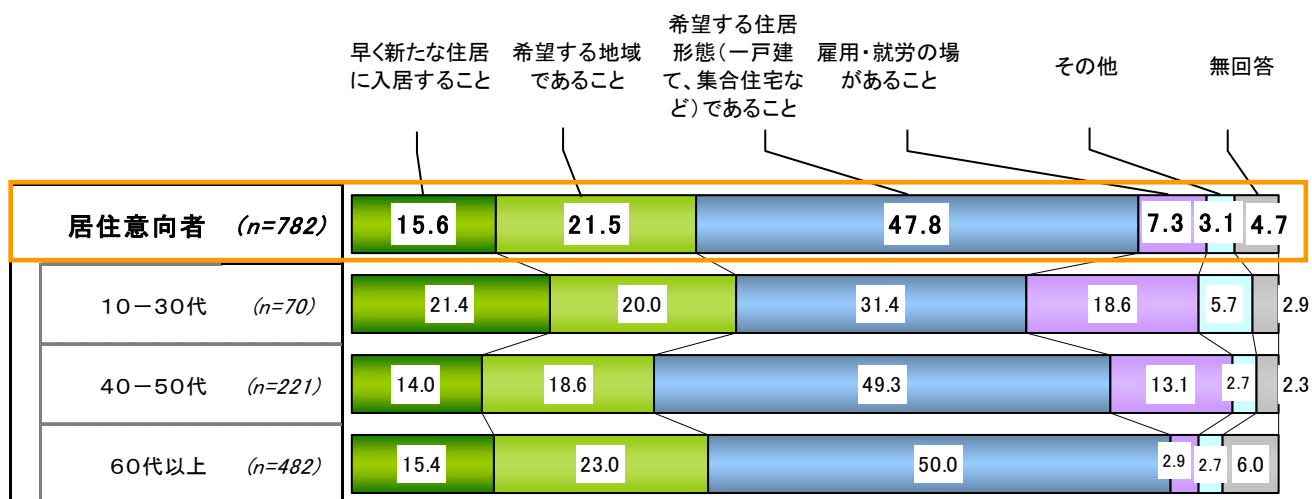
●復興の拠点を設ける場合の居住意向 Q19



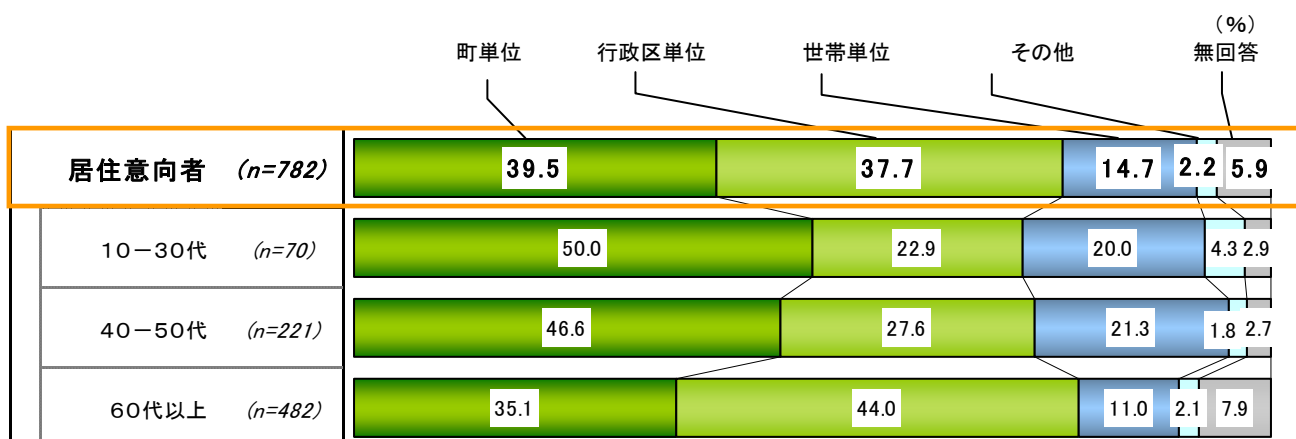
《復興拠点場所に移転するまで待つ事が可能な期間》Q19-1



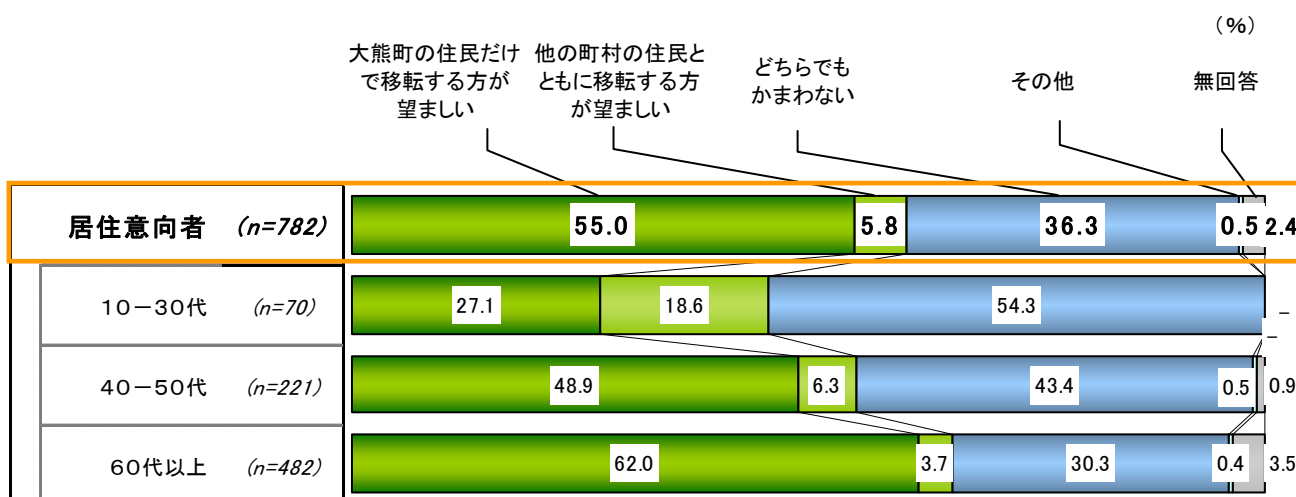
《復興拠点場所へ移転するか決定する場合の優先事項》Q19-2



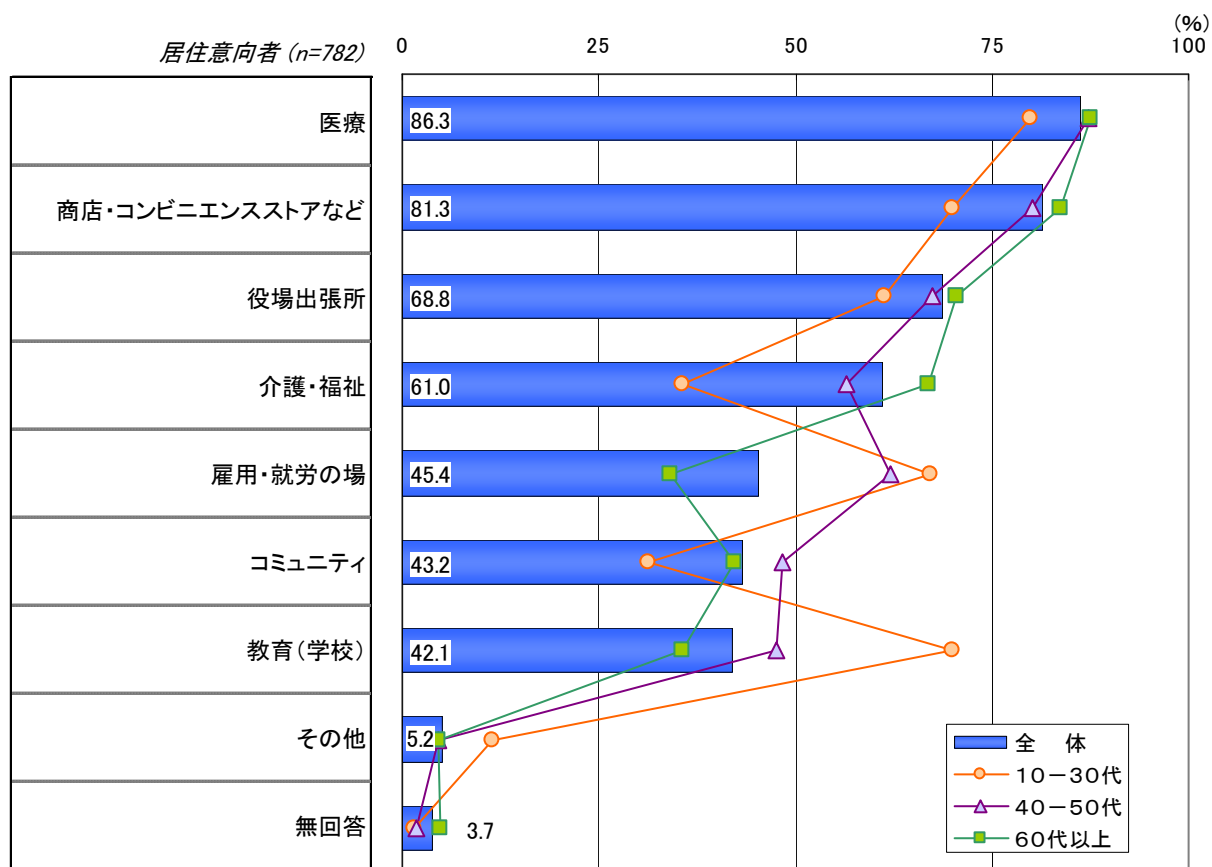
《復興拠点場所へ移転する場合の望ましいコミュニティの単位》Q19-3



《他の町村の住民と移転する場合の考え》Q19-4

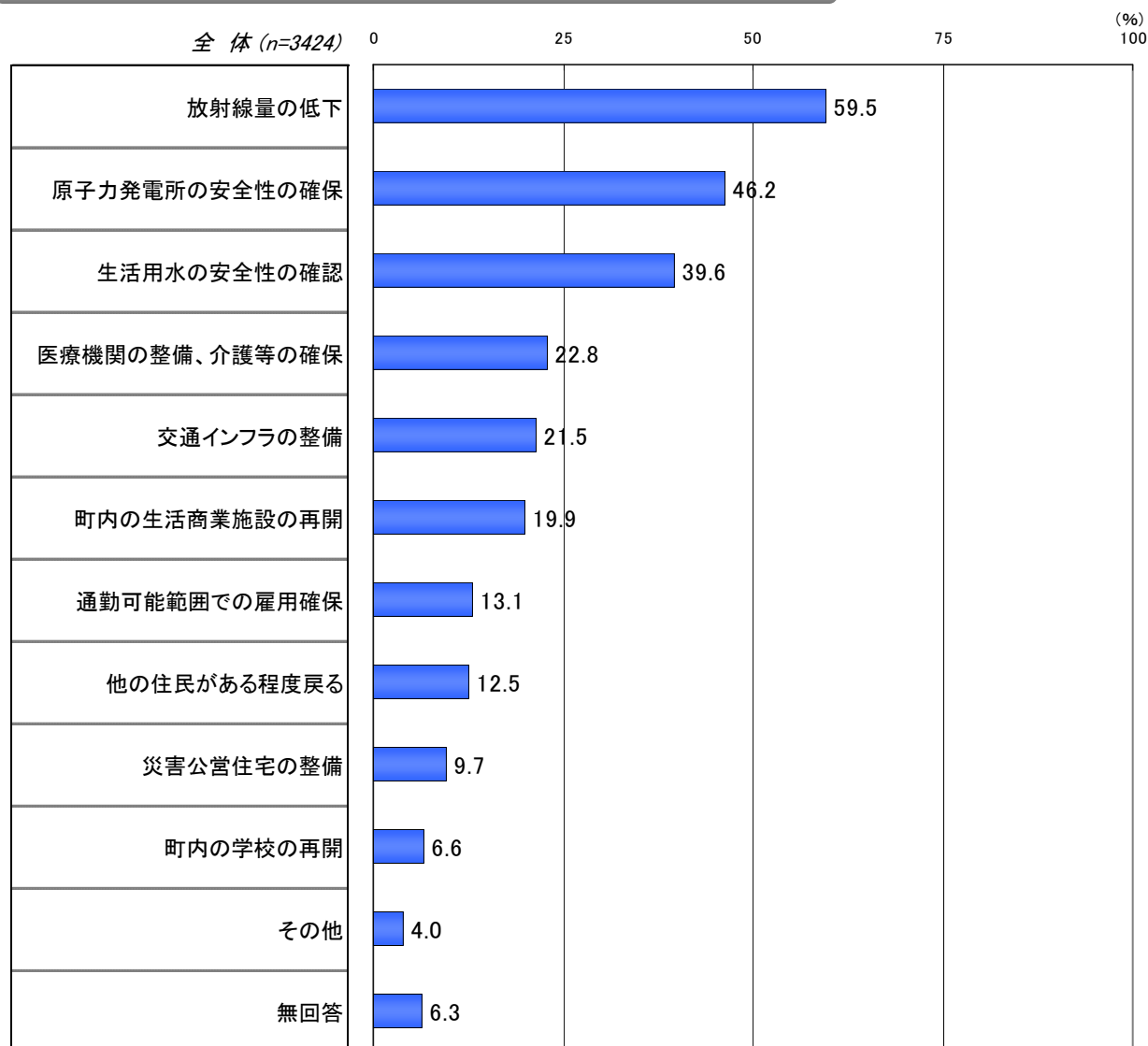


《復興の拠点に求めるもの（住宅以外）》Q19-5

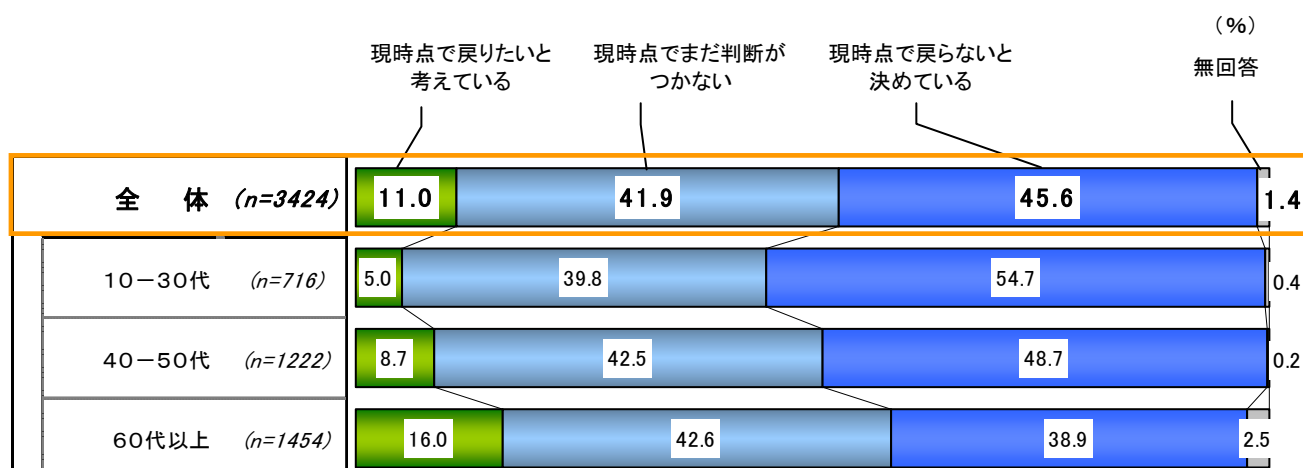


4. 避難指示解除後の大熊町への帰還について

●大熊町の復旧・復興に必要なもの(1番目～3番目の合算・複数回答) Q20

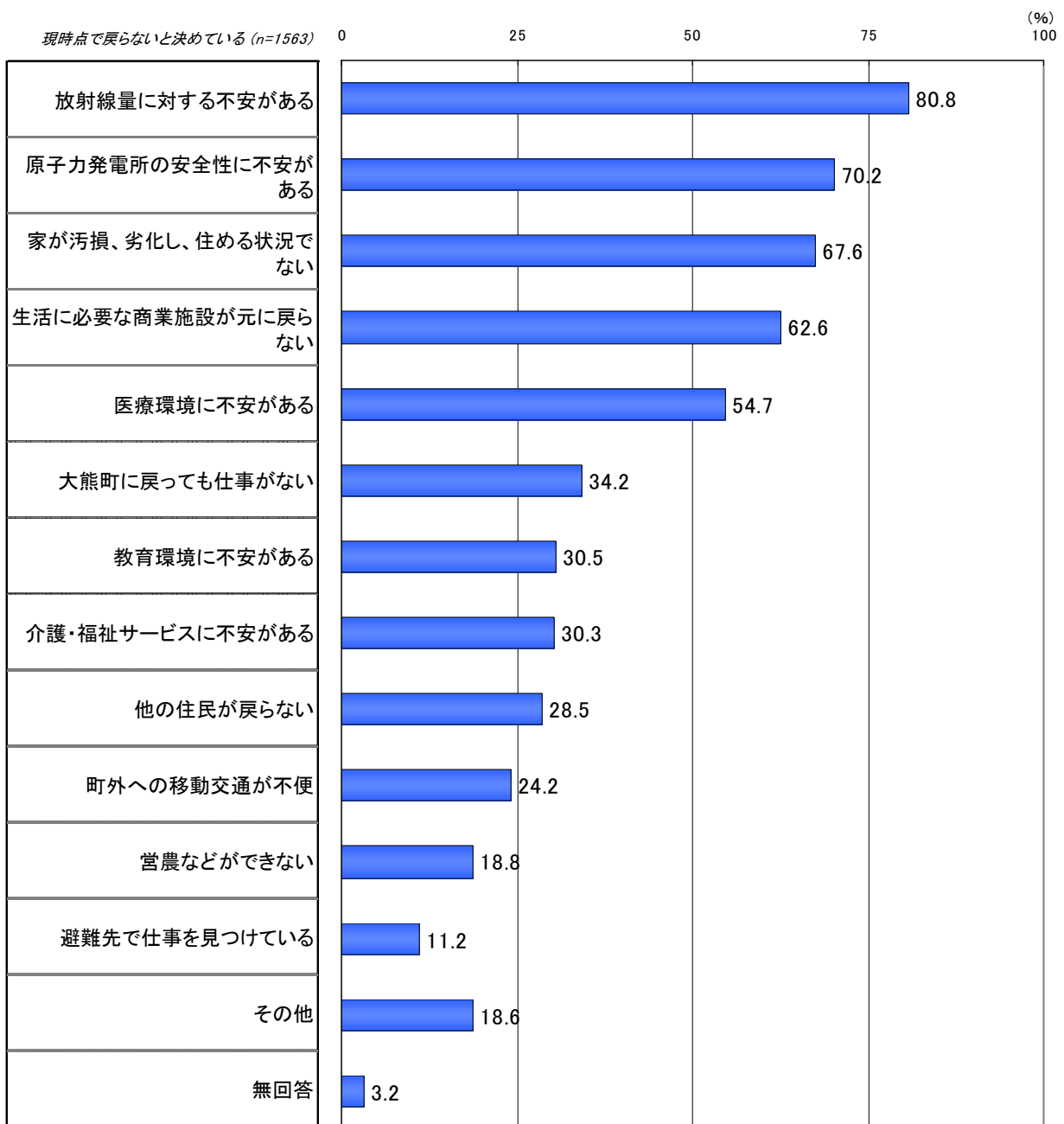


●大熊町への帰還について Q21

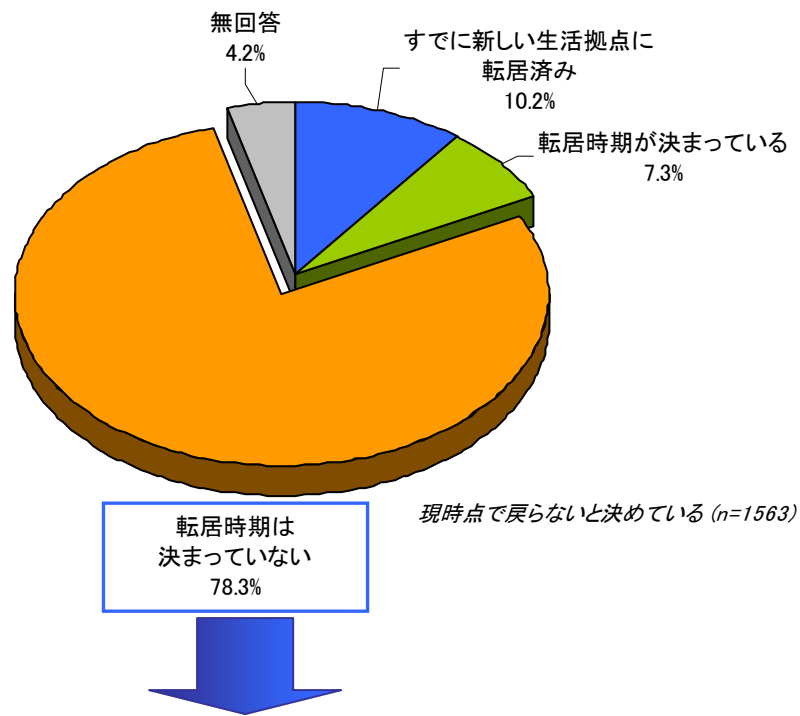


《「大熊町には現時点で戻らないと決めている」と回答した住民のみ回答》

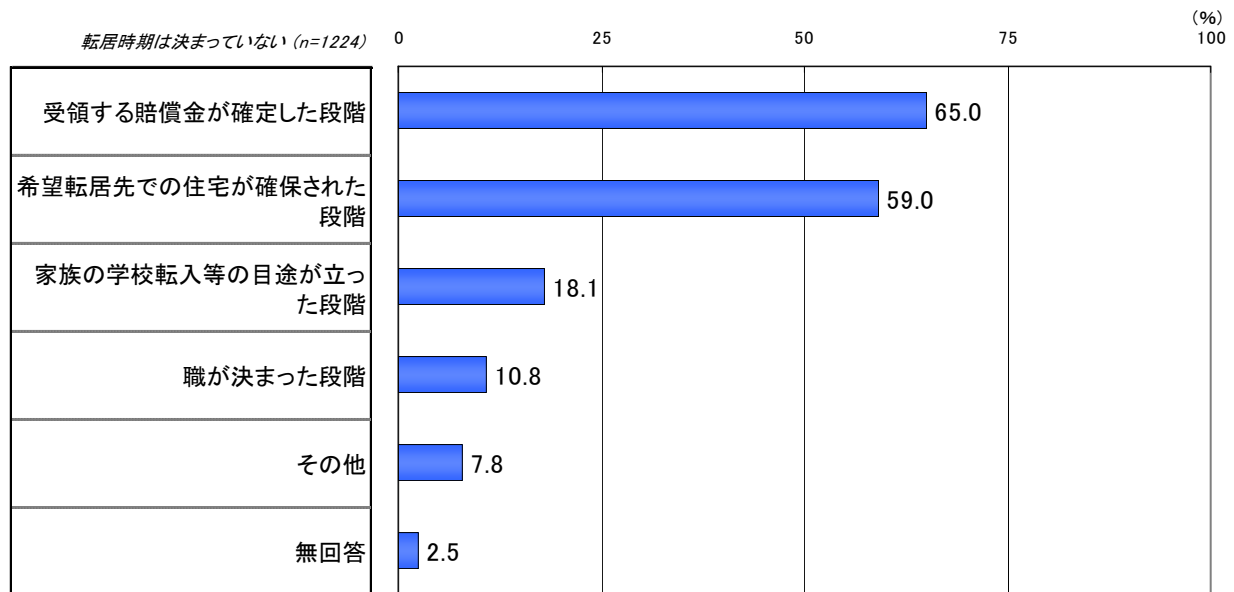
●大熊町に戻らない理由（複数回答）Q23



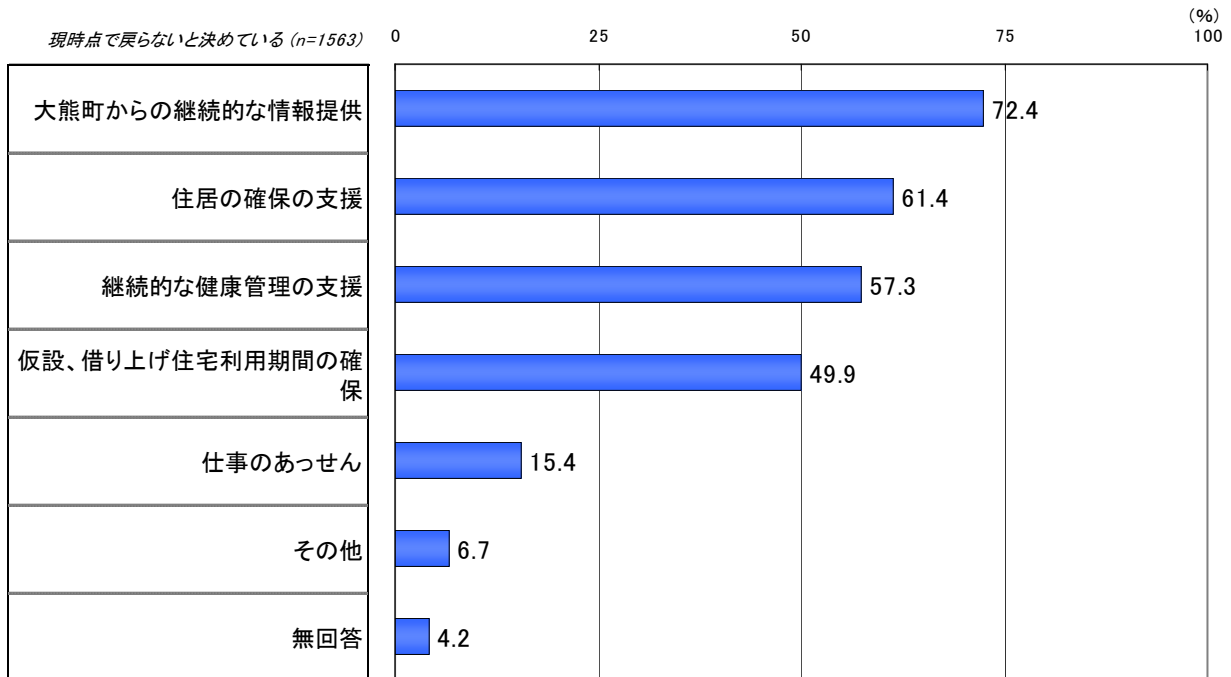
●今後の生活拠点に転居する時期 Q24



《転居時期の判断基準 Q24-1》



●戻らない場合に今後の生活において行政に支援を望むこと（複数回答）Q25



《「現時点でまだ判断がつかない」と回答した住民のみ回答》

●大熊町に戻るかを判断するために必要な情報（複数回答）Q22

